



報道発表資料

2001年4月19日
インフォテリア株式会社

インフォテリア、Linux に対応した BtoB サーバー 「Asteria for RosettaNet」を 5 月 29 日より出荷開始

インフォテリア株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：平野洋一郎）は、XML ネイティブの BtoB（企業間電子商取引）サーバー「**Asteria for RosettaNet**」（アステリアフォー ロゼッタネット）を Linux に対応させ、2001 年 5 月 29 日より提供します。

インフォテリアではすでに Solaris に対応した「**Asteria for RosettaNet**」を 2001 年 1 月 31 日より出荷しており、このたび、市場のニーズに対応して、コストパフォーマンスにすぐれ、最近ではミッションクリティカルなシステムでも多くの実績を誇るプラットフォームである Linux 環境においても「**Asteria for RosettaNet**」の導入を実現しました。Linux にも対応した「**Asteria for RosettaNet**」の提供により、BtoB への参加がさらに幅広い層で実現されます。「**Asteria for RosettaNet**」の価格は 2,400 万円（税別）からとなります。

「**Asteria**」は XML 専門ソフトウェア企業であるインフォテリアが各種 BtoB フレームワーク*1 の実装において要求される高度な技術やノウハウを結集して開発したサーバーソフトウェアです。「**Asteria**」は、インターネットを介したサーバー対サーバーでのデータの入出力、データ形式の変換、ビジネストラザクシヨンの管理など、BtoB に必要な機能に最適化された強固なアーキテクチャを有しています。RosettaNet（ロゼッタネット）*2 やアリバの cXML*3をはじめとする各種 BtoB フレームワークに対応したビジネスプロトコルを組み込むことで、異なるシステムを持った取引先との間で BtoB システムを構築したり、マーケットプレイスに接続することができます。「**Asteria for RosettaNet**」は、この「**Asteria**」ソフトウェアに RosettaNet ビジネスプロトコルを組み込んだ製品です。

このたびの Linux に対応した「**Asteria for RosettaNet**」の提供について、インテル株式会社および日本アイ・ピーエム株式会社より以下のようにコメントをいただいています。

インテル株式会社からのコメント

インテルでは、この度、インフォテリア株式会社様が、Linux に対応した「**Asteria for RosettaNet**」の出荷を開始することを歓迎します。インテルでは e-ビジネスの更なる発展のために、インテル・アーキテクチャ（IA）に基づいた e-ビジネスのソリューションの充実を目指しています。そのために Linux は重要な要素になると認識しています。インフォテリア株式会社様が、今回、IA 上で Linux に対応した、ミッションクリティカルな用途に向けた

製品を出荷されることは、IAベースのサーバの更なる普及とLinuxの発展に貢献するものと考えます。インテルでは、これからも、インテル・アーキテクチャのインターネット・ビジネス分野へのサポートを強化していきます。

インテル株式会社 e-マーケティング本部 本部長 / 佐藤 宣行 氏

日本アイ・ビー・エム株式会社からのコメント

当社とインフォテリアは、中堅・小規模企業向け Linux B2B ソリューションとして、「Astera.Planet for RosettaNet IBM eServer xSeries200 対応版」を、IBM のビジネス・パートナーより提供開始（5月29日）することを発表しています。このたびインフォテリアから出荷されるLinux対応のB2BサーバAsteraも、LinuxプラットフォームでのB2B実現をさらに加速させるものと高い期待を寄せています。

日本アイ・ビーエム株式会社 P Sサーバ & PWS 事業部長 / 須崎吾一 氏

インフォテリア株式会社について

インフォテリア株式会社は、1998年、日本初のXML専門ソフトウェア会社として設立されたXML分野のリーディングカンパニーです。東京と米ボストンに拠点を置き、世界市場に向けてXML製品の開発と販売を行っています。インフォテリアでは、先進のXMLテクノロジーをベースにXMLの普及を促進するコンポーネント製品や、企業間電子商取引（BtoB-EC）および企業間アプリケーション統合をXMLベースで行うためのソフトウェアを提供しています。

<http://www.infoteria.com/>

以上

#

<お問い合わせ先>

info@infoteria.co.jp

（電子メール）

<http://www.infoteria.com/>

（ウェブサイト）

<用語説明 / 注釈>

*1 BtoBフレームワーク （ビー トゥー ビー フレームワーク）	企業間電子商取引を実現するための、標準化された手続きを定めた技術仕様のこと。RosettaNetなどの非営利業界団体が提供するものもあれば、マイクロソフト社のBizTalkやアリバ社のcXML、コマースワン社のxCBLなどのように特定の企業が中心となって策定されたものもある。
*2 RosettaNet （ロゼッタネット）	ハイテク業界で、製品から電子部品に至るまでのサプライチェーンを標準化するために組織されたコンソーシアム。 RosettaNet http://www.rosettanet.org/ ロゼッタネットジャパン http://www.rosettanet.gr.jp/
*3 cXML （シーエックスエムエル）	commerce Extensible Markup Language の略。 米アリバ社の定める電子商取引のためのB2B仕様で、カタログの配信や受発注、パンチアウトなどについてその手順と電文形式を定めたもの